

同封書類等

- ① 住民票（除票）を必要とする対象者一覧
- ② 住民基本台帳カードの写し（三浦克之）
- ③ 滋賀医科大学職員証の写し（三浦克之）
- ④ 平成23年度 厚生労働科学研究費補助金交付申請書（写し）
- ⑤ 平成23年度 厚生労働科学研究費補助金交付決定通知書（写し）
- ⑥ 国立大学法人滋賀医科大学 現在事項全部証明書
- ⑦ 交付不可の場合の理由書
- ⑧ 資料：対象者への調査内容説明パンフレット
- ⑨ 資料：厚生労働省の事務連絡文（H22. 8. 30）
- ⑩ 資料：読売新聞記事「塩分取りすぎ 要介助の危険」2010年1月7日付
- ⑪ 資料：厚生労働科学研究費補助金（指定型）  
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業  
「2010年国民健康栄養調査対象者の追跡開始(NIPPON DATA2010)とNIPPON DATA80/90  
の追跡継続に関する研究（H22—循環器等（生習）—指定—017）」研究組織
- ⑫ 定額小為替
- ⑬ 住民票（除票）の写し 返送用封筒

資料 1-3

様式A (3)

厚生労働科学研究費補助金交付申請書

厚生労働大臣 殿

平成23年 4月18日

住 所 〒920-0953 石川県金沢市涌波2-4-39  
 フリカゝナ ミウラ 妙子  
 申請者 氏 名 三浦 克之  
 生年月日 1963年8月25日生



平成23年度厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)交付申請について  
 標記について、次により国庫補助金を交付されるよう関係書類を添えて申請する。

1. 申請金額 : 金 70,000,000 円也 (うち間接経費 6,360,000 円)
2. 研究課題名 (課題番号) : 2010年国民健康栄養調査対象者の追跡開始(NIPPON DATA2010)と  
 NIPPON DATA80/90の追跡継続に関する研究 (H22-循環器等(生習)-指定-017)
3. 研究事業予定期間 : 平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 1 日まで  
 ( 3 ) 年計画の ( 2 ) 年目
4. 申請者及び経理事務担当者

申 請 者	①所属研究機関	国立大学法人滋賀医科大学			
	②所 属 部 局	社会医学講座公衆衛生学部門			
	③職 名	教授			
	④所属研究機関 所在地 連絡先	国立大学法人滋賀医科大学 〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町 Tel: 077-548-2191 Fax: 077-543-9732 E-Mail: miura@belle.shiga-med.ac.jp			
	⑤最終卒業校	金沢大学大学院医学研究科	⑥学 位	医学博士	
	⑦卒業年次	平成5年	⑧専攻科目	公衆衛生学	
	経 理 事 務 担 当 者	(フリカゝナ) ⑨氏 名	(クサノ ヤスヒロ) 草野 康弘		
⑩連絡先・ 所属部局・ 課 名		〒520-2192滋賀県大津市瀬田月輪町 Tel: 077-548-2032 Fax: 077-548-2046 E-Mail: hqsuito@belle.shiga-med.ac.jp 国立大学法人滋賀医科大学会計課出納係			
⑪研究承諾 の有無	有	⑫事務委任 の有無	有	⑬所属研究機関における 間接経費の受入の可否	可

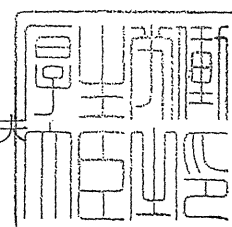
## 平成23年度厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)交付決定通知書

三浦 克之

平成23年4月18日で申請のあった平成23年度厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)については、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律(昭和30年法律第179号)第6条第1項の規定により、次のとおり交付することに決定したので、同法第8条の規定により通知する。

平成23年5月20日

厚生労働大臣 細川 律 夫



- 1 補助金の交付の対象となる事業(以下「事業」という。)は、厚生労働科学研究費補助金取扱規程(平成10年4月9日厚生省告示第130号。以下「規程」という。)第3条第1項の表第11号に定める事業であり、その内容は平成23年4月18日申請書記載のとおりである。
- 2 事業に要する経費及び補助金の額は、次のとおりである。ただし、事業の内容が変更された場合において、事業に要する経費又は補助金の額が変更されるときは、別に通知するところによるものとする。

事業に要する経費	金 70,000,000円
補助金の額	金 70,000,000円
- 3 補助金の額の確定は、規程第5条に定める交付額の算定方法により行うものである。
- 4 この補助金は、規程第12条に掲げる事項を条件として交付するものである。
- 5 事業に係る事業実績報告は、規程第16条に定めるところにより行わなければならない。
- 6 この交付の決定の内容又は条件に不服がある場合における補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律第9条第1項の規定による申請の取下げをすることができる期限は、平成23年6月3日とする。

## 現在事項全部証明書

滋賀県大津市瀬田月輪町  
 国立大学法人滋賀医科大学  
 会社法人等番号 1600-05-002166

名称	国立大学法人滋賀医科大学	
主たる事務所	滋賀県大津市瀬田月輪町	
法人成立の年月日	平成16年4月1日	
役員に関する事項	滋賀県守山市吉身六丁目2番27号 学長 馬場忠雄	平成20年 4月 1日就任
		平成20年 4月 1日登記
資産の総額	金140億9984万9062円 平成17年 6月21日変更 平成17年 6月28日登記	

これは登記簿に記録されている現に効力を有する事項の全部であることを証明した書面である。

(大津地方法務局管轄)

平成23年 5月27日

大津地方法務局草津出張所

登記官

山本睦男



## 資料 1-6

国立大学法人 滋賀医科大学  
社会医学講座公衆衛生学部門  
教授 三浦 克之 宛

住民票（除票）の写し 交付不可の理由

御市町村名（部課名） :  
御担当者氏名 :  
御記入日 :



# 循環器病の予防に関する調査 ニッポンデータ2010 (NIPPON DATA 2010)

この調査は、日本における脳卒中、心筋梗塞、心不全など  
循環器病の有効な予防方法を明らかにするための  
重要な調査です  
みなさまのご理解とご協力をお願いいたします



**厚生労働省指定研究 NIPPON DATA研究班**

研究代表者 三浦 克之 (国立大学法人滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門教授)

中央事務局 滋賀医科大学 (社会医学講座公衆衛生学部門)

## も く じ

調査の目的	3
ご協力いただきたい内容	4
情報の守秘と管理	5
調査参加者の利益	5
調査参加に伴う負担・不利益	6
参加の自由	6

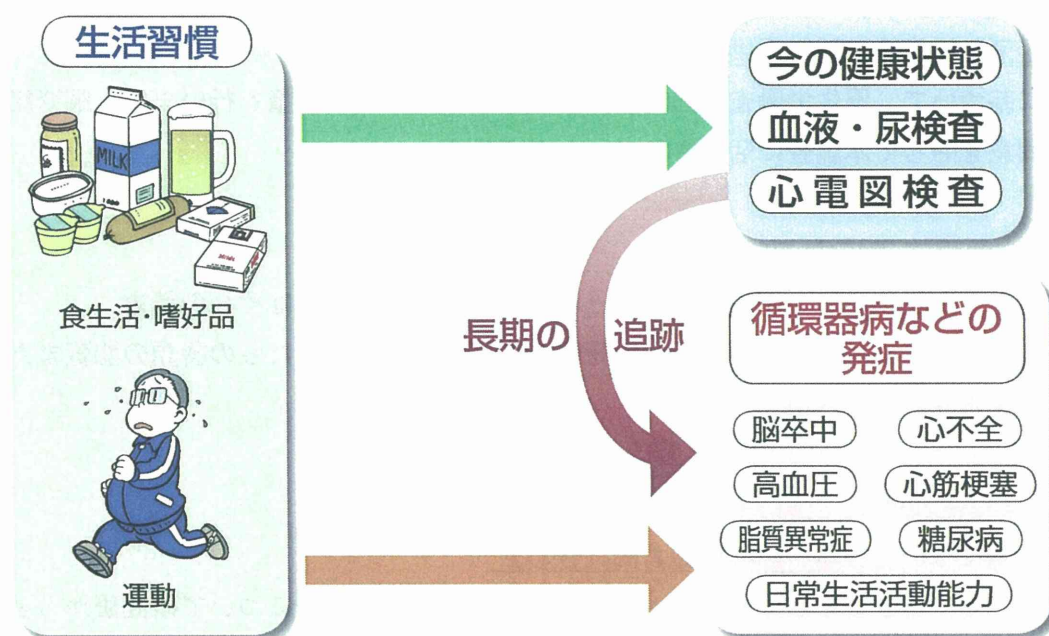


## 調査の目的

日本では脳卒中、心筋梗塞、心不全などの循環器病を毎年多くの方が発症しています。これらの病気は日常生活や生命に大きな影響を与えるため、循環器病の予防対策はたいへん重要です。循環器病の発症には食生活などの生活習慣や高血圧・糖尿病といった生活習慣病が大きく関係しており、健診などによる生活習慣病の予防・早期発見が大切です。

この調査は、国民健康・栄養調査に参加いただいた皆様にご協力いただき、日本人における生活習慣や検査データと将来の循環器病など生活習慣病の発症との関係を明らかにすることを目的としています。問診や検査は循環器病の予防に関するものが中心になっています。

調査結果は日本における循環器病の予防対策に役立てられます。今後の日本国民における健康づくりと疾病予防のため、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。



### 概要

**対象者：**国民健康・栄養調査にご参加いただいた20歳以上の方。

**方法：**追加の問診、心電図検査、血液検査、尿検査を実施します。また、今後の循環器病を中心とした生活習慣病の発症や死因などについての追跡調査を行います。調査結果に基づき生活習慣病に関連する要因についての統計解析を行います。追跡期間は最長30年間を計画しています。

**追跡する健康状態：**

脳卒中、心筋梗塞、心不全、糖尿病、腎臓疾患、高血圧、脂質異常症の発症、日常生活活動能力、死因など



## ご協力いただきたい内容

**当日の調査にご協力ください（調査は研究班の委託を受けた健診機関などの調査スタッフが実施いたします）**

- (1) **アンケート調査**（生活習慣、病歴、日常生活活動能力など）・**安静時心電図検査**・**尿検査**  
当日、追加のアンケート調査にご協力下さい。安静時心電図検査・尿検査にご協力下さい。検査結果は後日お知らせします。尿検体は今後の測定のために保管させてください。
- (2) **追加の血液検査**  
当日、国民健康・栄養調査で採取した血液において、追加の検査項目（心機能、炎症反応）の測定をします。血液の残りを利用しますので、余分な採血や再度の採血は行いません。
- (3) **国民健康・栄養調査の結果の提供**  
法律に基づいて、厚生労働省に国民健康・栄養調査結果の使用申請を行います。調査結果は皆様の同意をもって本調査に活用させていただきます。
- (4) **国民生活基礎調査結果の提供**  
法律に基づいて、厚生労働省に国民生活基礎調査結果の使用申請を行います。調査結果は皆様の同意をもって本調査に活用させていただきます。

**今後の追跡調査にご協力ください**

- (5) **住民票、人口動態統計**（国が死因をまとめたもの）の閲覧または写しの請求  
生存、死亡、転出などの追跡、死亡・死因の把握のために、これらの書類の閲覧または写しの請求をさせていただきます。

**今後の健康状態調査にご協力ください**

- (6) **健康状態についての年一回程度のお問い合わせ**  
年一回程度、皆さまの循環器病にかかわる健康状態や受診状況について研究班から郵便等でお尋ねしますので、調査にご協力ください。
  - (7) **診療録（カルテ）の閲覧あるいは病名等の照会**  
回答いただいた受診状況に基づき、研究班より皆さまが受診された医療機関の診療録閲覧あるいは治療のまとめ等の写しの請求、病名等の照会をさせていただきます。
- ◇**追跡期間は最長30年を計画しています。**
  - ◇**皆さまから提供いただきました調査結果や検査結果の資料は今後の分析のために保存させていただきます。**
  - ◇**追跡が終了いたしましても提供いただきました調査結果や検査結果の資料は匿名化の上で国民の健康福祉のために有効に活用させていただきます。**
  - ◇**今回の追加血液検査、尿検査、心電図検査の結果は研究班より後日、ご本人にお返しします。結果判定は分担研究組織である公益財団法人結核予防会にて行います。**

## 情報の守秘と管理

- ◇集められた資料・試料は暗号化（匿名化）された記号で管理し、中央事務局（滋賀医科大学内）にて追跡が終了するまでの間保存し、研究に用います。
- ◇これらの資料は調査事務局の施錠された部屋に置かれた外部から遮断されたコンピューター上で厳重に保管、管理します。
- ◇なおこの研究によって診療録等の閲覧、写しの請求等で収集された情報は、ご請求があっても開示いたしません。これらの情報の開示請求は、病院等の各情報の管理機関に直接行ってください。

## 調査参加者の利益

- ◇調査参加者個人の金銭的な利益はありません。
- ◇調査参加者全員に、追加血液検査の結果、尿検査の結果、心電図検査の結果などを後日お送りします。また検査結果に基づき、将来の循環器病予防のためのアドバイスを後日お送りします。
- ◇年1回程度の健康状態のお問い合わせの際には、健康づくりに役立つ情報などを合わせてお送りします。
- ◇追加検査の結果について中央事務局で医師等の専門家による助言（病院での受診が必要な場合は紹介状の作成）を行います。
- ◇統計解析の結果は学術専門誌・学会等に個人が特定できない形で公表し、国民の健康増進・疾病予防のために役立てます。



## 調査参加に伴う負担・不利益

- ◇本日、追加の問診および安静時心電図検査を行います。特別な危険はありません。20分ほどのお時間をいただきます。
- ◇年1回程度、健康状態についてのお問い合わせを郵便等でさせていただきます。少々のお時間を割いてお答え下さい。
- ◇参加者の個人情報外部に漏れないように厳重に管理します。

## 参加の自由

- ◇この調査への参加は自由です。
- ◇ご協力いただけない場合でも、不利益は一切ありません。
- ◇参加に同意した後も、いつでも途中で参加を取りやめることができます。参加を取りやめる場合は、「同意撤回文書」をご請求いただき調査事務局にご返送ください。「同意撤回文書」を受理した時点でご提供いただいた一切の資料・データは廃棄いたします。ただし、受理前に匿名化されたデータに関しては引き続き調査・研究に使用させていただきます。



平成22年度厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)(指定型)  
2010年国民健康栄養調査対象者の追跡開始(NIPPON DATA 2010)とNIPPON  
DATA80/90の追跡継続に関する研究

研究代表者

三浦 克之 国立大学法人滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 教授

研究分担者

上島 弘嗣 国立大学法人滋賀医科大学生活習慣病予防センター 特任教授  
和泉 徹 学校法人北里研究所北里大学医学部循環器内科学教室 教授  
大久保孝義 国立大学法人滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 准教授  
岡村 智教 独立行政法人国立循環器病研究センター病院予防健診部 部長  
岡山 明 公益財団法人結核予防会第一健康相談所 所長  
奥田奈賀子 公益財団法人結核予防会第一健康相談所生活習慣病予防・研究センター 副センター長  
尾島 俊之 国立大学法人浜松医科大学健康社会医学講座 教授  
笠置 文善 財団法人放射線影響研究所疫学部 副部長  
門田 文 国立大学法人滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 特任講師  
喜多 義邦 国立大学法人滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 講師  
清原 裕 国立大学法人九州大学大学院医学研究院環境医学分野 教授  
斎藤 重幸 北海道公立大学法人札幌医科大学医学部内科学第二講座 講師  
坂田 清美 学校法人岩手医科大学衛生学公衆衛生学教室 教授  
中川 秀昭 学校法人金沢医科大学公衆衛生学講座 教授  
中村 保幸 学校法人京都女子学園京都女子大学家政学部生活福祉学科 教授  
中村 好一 学校法人自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門 教授  
西 信雄 独立行政法人国立健康・栄養研究所国際産学連携センター センター長  
早川 岳人 公立大学法人福島県立医科大学衛生学・予防医学講座 准教授  
寶澤 篤 国立大学法人山形大学大学院医学系研究科公衆衛生学講座 助教  
松村 康弘 学校法人桐丘学園桐生大学医療保健学部 教授  
由田 克士 公立大学法人大阪市立大学大学院生活科学研究科栄養疫学 教授



**調査実施当日のお問い合わせは**

ニッポンデータ2010結核予防会事務局

公益財団法人結核予防会第一健康相談所（所長 岡山明）

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-3-12

電話番号 03-3292-9285 ファックス 050-3488-6953

（調査実施時間内のお問い合わせを受け付けます）

**調査実施後の調査全体に関するお問い合わせ、同意撤回文書や詳細な研究計画書のご要望は**

ニッポンデータ2010中央事務局

国立大学法人滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門（研究代表者 三浦克之）

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号 077-548-2191 ファックス 077-543-9732

（電話受付時間 平日午前10時から午後5時まで）

ホームページ <http://hs-web.shiga-med.ac.jp/>

<http://hs-web.shiga-med.ac.jp/study/NIPPONDATA2010>

事 務 連 絡

平成22年8月30日

各 

都 道 府 県
保健所設置市
特 別 区

 衛生主管部（局）  
国民健康・栄養調査担当者 様

厚生労働省健康局総務課生活習慣病対策室

循環器病の予防に関する調査への協力依頼について

国民健康・栄養調査の実施につきましては、日頃よりご高配を賜っているところであり、厚く御礼申し上げます。

本年11月に実施する「国民健康・栄養調査」と同時に、平成22年度厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）（指定型）

「2010年国民健康栄養調査対象者の追跡開始(NIPPON DATA2010)とNIPPON DATA80/90の追跡継続に関する研究」（研究代表者：三浦 克之 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門教授）において、「循環器病の予防に関する調査(NIPPON DATA 2010)」を実施することとなりました。

「循環器病の予防に関する調査(NIPPON DATA 2010)」については、昭和30年代以降、約10年毎に国が実施してきた「循環器疾患基礎調査」のうち、心電図検査、尿検査等の調査内容を厚生労働省による指定型研究として実施するものであり、その結果については、調査対象者等に還元されるとともに、今後の生活習慣病予防対策事業の検討に使用されます。

つきましては、本調査の趣旨をご理解いただき、調査実施への協力について配慮をお願いいたします。

(参考)

## 循環器病の予防に関する調査（NIPPON DATA 2010）の概要

### 1. 調査の目的

国民の循環器疾患とその関連要因の変遷を明らかにするとともに、本調査をベースラインとする長期追跡に活用し、将来の循環器疾患リスクに影響する要因を明らかにすることを通じて、今後のわが国の循環器疾患等、生活習慣病予防対策に関する基礎資料を得ることを目的に行う。

### 2. 調査実施機関

平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金

(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業) (指定型)

「2010 年国民健康栄養調査対象者の追跡開始（NIPPON DATA 2010）と NIPPON DATA80/90 の追跡継続に関する研究」

研究代表者：三浦 克之（滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 教授）

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町 電話 077-548-2191 FAX 077-543-9732

### 3. 調査の対象

「平成 22 年国民健康・栄養調査」の調査対象者のうち、本調査への参加・追跡調査等について同意を得られた 20 歳以上の成人男女。

### 4. 調査方法

「平成 22 年国民健康・栄養調査」の身体状況調査実施日に、研究班が派遣する調査員（委託健診機関等）が対象者本人から調査参加の同意を取得し、調査を実施する。

### 5. 調査内容

心電図検査、残余血液検体での追加検査、尿検査、循環器関連疾患等健康状態や生活習慣に関する問診。



# 読賣新聞

2010年(平成22年)

1月7日 木曜日

## 塩分取りすぎ 要介助の危険

食塩を多く摂取する人ほど、年齢を重ねてから身の回りの動作に介助が必要になる危険性が高いことが、厚生労働省研究班(代表||上島弘嗣・滋賀医科大学名誉教授)の調査でわかった。食塩の摂取量と介助の必要性の関係を明らかにした研究は、これが初めてだ。

研究班は、1980年の国

民栄養調査のデータをもとに、心血管疾病や高血圧の既往症のない当時52〜64歳の男女1510人の食塩摂取量を推定。それから14年後の94年の時点の生活動作を調査して、①排せつ②衣服の着脱③入浴④食事⑤歩行―のいずれかが1人でできない場合を、「介助が必要」として分析した。

### 厚生労働省研究班が調査

食塩の摂取量は、男性が1日平均16・6g、女性が同13・9gで、介助が必要だったのは53人だった。食塩の摂取量が、男性で1日5・7g、女性で同4・5g増えるごとに、介助が必要となる危険性は25%ずつ増していた。逆に、野菜などに含まれるカリウムを多く摂取するほど、日常動作の悪化を防ぐ効果があっ

た。食塩と高血圧の関係は知られているが、実際に介助が必要になる人がどれだけのかは、はっきりしていなかった。三浦克之・滋賀医大教授は、「家庭の調味料から摂取する食塩は3割ほどで、外食や加工食品から知らず知らずに食塩を摂取している。意識して食塩の摂取を減らすことが、将来の生活の質を維持するためにも大切だ」と話している。



## 資料 1-10

厚生労働科学研究費補助金（指定型）

循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業

「2010年国民健康栄養調査対象者の追跡開始(NIPPON DATA2010)と NIPPON DATA80/90  
の追跡継続に関する研究（H22-循環器等（生習）-指定-017）」

研究組織

研究代表者

三浦 克之 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 教授

研究分担者

上島 弘嗣 滋賀医科大学 名誉教授  
岡山 明 公益財団法人結核予防会第一健康相談所 所長  
岡村 智教 慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学 教授  
和泉 徹 北里大学医学部循環器内科学 教授  
大久保 孝義 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 准教授  
奥田 奈賀子 公益財団法人結核予防会第一健康相談所生活習慣病予防・研究センター 副センター長  
尾島 俊之 浜松医科大学健康社会医学講座 教授  
門田 文 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 特任講師  
喜多 義邦 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 講師  
清原 裕 九州大学大学院医学研究院環境医学分野 教授  
斎藤 重幸 札幌医科大学医学部内科学第二講座 准教授  
坂田 清美 岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座 教授  
中川 秀昭 金沢医科大学医学部公衆衛生学教室 教授  
中村 保幸 京都女子大学家政学部生活福祉学科 教授  
中村 好一 自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門 教授  
西 信雄 国立健康・栄養研究所国際産学連携センター センター長  
早川 岳人 福島県立医科大学衛生学・予防医学講座 准教授  
寶澤 篤 山形大学大学院医学系研究科公衆衛生学講座 講師  
松村 康弘 桐生大学医療保健学部 教授  
村上 義孝 滋賀医科大学社会医学講座医療統計学部門 准教授  
由田 克士 大阪市立大学大学院生活科学研究科食・健康科学講座 教授

平成 23 年 11 月 7 日

様

「循環器病の予防に関する調査(ニッポンデータ 2010)」参加者の皆様へ

1 年後の健康状態アンケート調査のお願い

厚生労働省指定研究 ニッポンデータ研究班  
研究代表者 三浦 克之

拝啓

晩秋の候、皆様におかれましてはお元気にお過ごしでしょうか。昨年 11 月に国民健康栄養調査と同時に実施した「循環器病の予防に関する調査(ニッポンデータ 2010)」(心電図検査・尿検査など)にご協力いただき誠にありがとうございました。今年度の健康関連資料(ニッポンデータ通信 第 1 号)などを同封させていただきます。皆様の日々の健康管理にお役立ていただければ幸いです。

さて、皆様には昨年の調査の際に、今後も健康状態について引き続きお伺いすることに同意いただいております。

つきましては、この一年間の皆様の健康状態について、別紙アンケート用紙にご記入いただき、2 週間以内に同封の返信用封筒にてご返送いただきますようお願い申し上げます。ご回答内容は守秘いたします。また、ご回答内容について後日、ご本人様もしくは医療機関等にお問い合わせをする場合もございますことをご了承ください。

何かご不明な点等がございましたら、事務局までご連絡下さい。お手数をおかけしますがどうぞ宜しくお願いいたします。

敬具

お問い合わせ： ニッポンデータ 2010 中央事務局 担当 吉田・斎藤  
〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町  
国立大学法人滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門  
TEL 077-548-2191 (10 時～17 時)

循環器病の予防に関する調査  
ニッポンデータ2010  
健康状態についてのおたずね

Ver1.0

以下の質問について、あてはまる□にするし(✓)をつけて下さい。

1. 平成 22 年 11 月から現在までの間に、以下の病気に対して、医師からの  
お薬による治療を受けられましたか。あてはまる□にするし(✓)をつけて  
下さい。

1.  こうけつあつ 高血圧 (血圧が高い)
2.  こうしけっしょう ししつじょうしょう 高脂血症・脂質異常症 (血中のコレステロールや中性脂肪が高い)
3.  上記のいずれもなし
4.  不明

※お薬による治療を受けている方は、できましたら薬名の記載された説  
明書や薬の袋等を同封下さい。

2. 平成 22 年 11 月から現在までの間に、とうようびょう 糖尿病 (血糖値が高い) と 医師  
から言われましたか。

1.  いいえ
2.  はい

↳ ① 時期 平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_

② どちらの医療機関を受診されましたか

所在地 (市区町村名)

医療機関名

(後日、医療機関に病名確認のお問い合わせをさせていただきます)

③ 医師からお薬による治療を受けられましたか

1.  いいえ
2.  はい

